

「強く国にも訴えていく決意」と答弁

橋爪議員 豪雪災害の対策求める



橋爪議員は、昨年1月の豪雪で災害救助法対象となる除雪費支援の一部がいまだに認められていないことについて、どうなっているのかという点と、今年7月に改定された国の災害救助事務取扱要領を市としてどのように評価しているかという点をたずねました。

これらに対して市長は、「昨年1月の豪雪災害においては、当市全域が災害救助法の適用を受け、要援護世帯など3579世帯の救助を実施し、約2億7千万円の救助費用を受け取ったが、国からは、現場の写真が添付されていないことや、住宅側面等の除雪の必

要性について確認を求められたため、その説明資料を今年1月に提出した。その後、7月に追加資料の依頼があり、資料作成と精算監査への同席を行い、県とともに除雪の必要性を訴えてきた。現在、さらに200世帯余りについて、再度資料提出等を求められて対応している。改定された災害救助事務取扱要領は、除雪対象の新たな事例が図示されており、一定の評価をしている」と答えました。

橋爪議員はさらに、「かつて原健三郎国土庁長官が言ったように、『豪雪それ自体が災害』という観点で『助けてくれ』というところにはすぐ助けの手を差し出すのが政治行政ではないか。その点を国にはつきり言うべきではないか」とたずねました。

市長はこれに対して、「今年の2月の除雪については、(国の災害救助法ではなく、県の)災害救助条例の対象になったが、私は非常に悔しかった。机上の空論でこの豪雪地帯のことを考えられたら

困ると思っているもので、強く国にも訴えていく決意で全力を尽くしたい」と答えました。

次に橋爪議員は、吉川区の町田古墳群について、発見の意義と今後の課題についてたずねました。

教育長はこれに対し、「町田古墳群は、頸北地域にも大和政権とつながりを持ち、古墳群を造営する集団がいたことを示しており、当市の歴史に新しい一ページを加える成果であると考えている。教育委員会では、古墳群の詳細な測量調査を行い、文化財保護法に基づき保護措置を講じた。今後周辺の見古墳の把握に努め、その保護に万全を期していく」と答えました。

日本共産党上越市議員団ニュース
 No.776 2022年12月25日
 連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

ガス料金引上げなどを決め 波乱の12月議会閉会

個人情報保護法関連条例、ガス・下水道料金の引上げ、特別職の一時金改定、市民いこいの家浴室廃止 など15議案に毅然と反対

12月定例議会は、市民に新たな負担を強いる使用料金の引上げなどを決め、14日に閉会しました。

閉会前に行われた議案の採決に先立ち、上野議員が党議員団を代表して15の議案に対する反対討論を行いました。

反対したのは、まず、国が個人情報保護法を決めたことから、市独自の条例を一括リセットした件です。これまで個人情報情報は市独自の条例で厳格に守ってきたが、新たなビジネスチャンスとして

活用しようという国の方針に基づいて市独自の条例をリセットする改訂です。

また、ガスや下水道などの使用料金の引上げ、市民いこいの家の浴室廃止、特別職の一時金の引上げなど、市民の利益になる議案や市民感情に合わない議案に対して反対しました。(各議案名称は下表の通り)

なお、介護保険制度の改善を求める請願は、平良木議員が賛成討論をしました。反対多数で不採択となりました。

- <個人情報保護法関連>
 - 上越市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定
 - 上越市個人情報の保護に関する法律の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
 - 上越市議会個人情報の保護に関する条例の制定
- <特別職の一時金改定関連>
 - 令和4年度上越市一般会計補正予算(第5号)
 - 令和4年度上越市ガス事業会計補正予算(第1号)
 - 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
 - 議案第117号特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
 - 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正
- <市民いこいの家関連>
 - 議案第123号市民いこいの家条例の一部改正
- <使用料金の引上げ関連>
 - 上越市下水道条例の一部改正
 - 上越市農業集落排水条例の一部改正
 - 上越市浄化槽整備推進事業に係る浄化槽の設置等に関する条例の一部改正
 - 上越市ガス水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正
 - 上越市液化石油ガス供給条例の一部改正
 - 上越市ガス供給条例の一部改正